

第4学年総合的な学習の時間指導案

令和4年10月18日(火) 第5校時

荒川区立第三峡田小学校

第4学年1組 18名

授業者 五十嵐 彩花

研究主題

未来につながる子どもの育成 ～SDGsの視点と関連させた授業づくり～

1 単元名 「みんなの未来のために4年1組ごみ減量プロジェクト」



2 単元の目標

ごみの問題やその背景、学校や家庭での取組などを調べる活動を通して、ごみの問題は自分たちの生活と深い関わりがあることを理解し、環境問題を自分事として捉えて課題解決に取り組むとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①ごみ問題は、自分たちの生活と深い関わりがあることに気付いている。	①問題の中から課題を設定し、解決方法や手順を考え見通しをもって計画を立てている。	①ごみ問題に関心をもち、自分自身の生活を見つめ直し、積極的に探究的な学習に取り組もうとしている。
②ごみ問題に対して、地域や家庭で様々な取組が行われており、そこには努力や工夫があることを理解している。	②目的に応じて、必要な情報を集めたり選んだりしている。	②自分や他者のよさに気付き、協力して探求活動に取組、自分の考えをもとうとしている。
③ごみ問題に対して、自分にもできることがあることが分かる。	③考えるための技法を活用しながら、情報を整理・分析し、課題の解決を見いだしている。	③課題解決のために、目的意識をもってすすんで活動し、自分の生活に生かそうとしている。
	④自分の意見や立場を明確にし相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。	

4 児童の実態と教材について

本学級の児童はこれまでの学習を通して、課題解決に向け、資料や情報を集めることはできるようになっている。また、そこから自分の考えをもつこともできる。しかし、伝えることや友達との交流を通して学びが深まるまでには至っていない。そのため、伝える場の設定や友達の意見と比較しながら聞き、自分の意見に取り入れることができるような手だてが必要と考える。

本単元は、環境に関わる問題を自分の身近な問題として捉え、自分たちができることを考え、発信していくことをねらいとしている。児童は、社会科の学習で「水」「ごみ」について学習し、自分たちを取り巻く環境について学んできた。また、あらかわエコセンターを見学し、学習してきたことを実際に自分の目で確かめた。その中から、「このままごみが増え続けると、東京都がごみの島になってしまう」という課題に気付くことができた。学校アンケートで「食べ物を残さず食べたり水や物を大切

にしたりしている」と答えた児童は77%いたが、「世界で起きている問題を知っている」と答えた児童は52%だった。ごみの課題を調べることにより、ごみを減らすためには自分たちが努力しなければいけないことに気付かせ、減らす方法を日常の生活と結び付けて考えさせたい。以上の学習活動をSDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」目標12「つくる責任つかう責任」と関連させながら、「未来につながる子」の育成していく。

5 重視したいESDの視点との関連

ESDの視点	育てたい具体的な姿	関連評価
①批判的に考える力	・友達の意見を聞いたり、自分の意見と比べたりすることによって、ごみを減らす取組について自分にできそうなことを考えようとしている。	知① 思①
③多面的・総合的に考える力	・ごみを減らすために、学校、家庭、地域で取り組まなければならないことを理解している。	知②
⑥つながりを尊重する態度	・自分たちでごみを減らす取組をしなくてはならないことに気付き、自分自身とのつながりを意識して探究的な学習に取り組んでいる。	主②

これらの力・態度を高め、ESDの構成概念「多様性」「相互性」「連携性」を身に付けさせたい。

6 本単元の研究主題にせまる手だて

(1) 批判的に考える力

- ・自分の意見を付箋に書いて、友達と情報を共有できるようにしておく。
- ・付箋に書いた意見を共有できるように、班で整理をして友達の意見と自分の意見を比べることができるようにする。
- ・個人、グループ活動、全体交流の時間を設けることで、自分の考えを伝えたり、自分の意見に友達の考えを取り入れたりできるようにする。

(2) 多面的・総合的に考える力

- ・みんなから出た意見を比較し、まとめやすくするために、付箋や短冊、思考ツールを活用する。

(3) つながりを尊重する態度

- ・個人、グループ活動、全体交流の時間を設けることで、ごみを減らす取組がたくさんあることに気付かせる。
- ・学習の足跡を残すことで、これまでの自分と学習後の自分を振り返られるようにする。
- ・活動の見通しがもてるような掲示をして、これまでの活動を振り返りながら進められるようにする。
- ・単元のゴールを示し、児童と共に立てた授業計画を掲示し進めていくことで、児童が主体的に学ぶことができるようにする。

7 他教科等との関連

総合的な学習の時間「みんなの未来のために4年1組ごみ減量プロジェクト」			
国語科	社会科	道徳科	家庭科
4年 クラスみんなで決めるには調べて話そう、生活調査隊	4年 ごみのゆくえ 5年 水産業のさかんな地域	4年 いのちをつなぐ岬	5年 持続可能なくらしへ ミシンにトライ!
5年 目的に応じて引用するとき想像力のスイッチを入れよう			

8 指導計画 (全26時間) 課：課題設定 情：情報収集 整：整理・分析 ま：まとめ・表現

課題 (時数)	探究	○児童の主な学習活動	・予想される児童の反応	評価 規 準
1 ごみ問題について考えよう(10)	課	○ごみ問題について知る。 ○調べることを決める。 ○グループごとに調べるテーマを決める。	・日本、世界のごみ問題 ・ごみの分別方法 ・学校、家庭、地域での取組	知① 思① 思② 主①
	情	○本やインターネットで情報を集める。 ○あらかわエコセンターに見学に行く。	・ごみを減らす取組について知った。	
	整	○集めた情報を整理・分析する。 ○グループで発表練習をする。	・調べて分かったことを友達と共有して整理しよう。	
	ま	○テーマごとに情報をまとめ、発表する。	・自分たちにできることがあった。	
2 自分たちにできることはないだろうか(6) 本時	課	○発表から感じたことを基に、ごみを減らすために「自分たちにできること」を考える。	・家庭と学校でできる取組を考えていきたい。	知② 思③ 主②
	情	○ごみを減らすために「自分たちにできること」を調べる。(家庭・学校)	・自分たちに何ができるかな。	
	整	○「自分たちにできること」を出し合い、友達と交流し合い決める。(家庭・学校)	・自分たちでできる取組にしよう。	
	ま	○発信手段を決めて、今後の活動へとつなげる。	・決めた取組に向けて準備していこう。	
	課	○「自分たちにできること」を実行するためには、どうすればよいか計画を立てる。	・これから何を準備していこう。 ・次の総合の授業が楽しみだな。	
3 ごみ減量プロジェクト(10)	情	○プロジェクトを進める。	・力を合わせて取り組もう。	知③ 思④ 主③
	整	○プロジェクトを振り返り、成果や課題を整理する。	・これからの生活に生かそう。	
	ま	○プロジェクトをまとめ、伝え合う。	・自分たちの取組が成功した	
	課	○プロジェクトを振り返り、発信する。	・自分たちも役に立てた。もっと役に立ちたい。	

9 本時 (12 / 26時間)

(1) 本時の目標

ごみを減らす取組について、「自分でできる」、「すぐにできる」、「続けられる」という視点に沿って、それぞれの取組についてグループや全体で交流を通して、ごみを減らすために、自分でできることを決めることができる。

(2) 本時の展開

	○学習活動 T教師の発問 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価規準【観点】(評価方法)
導入	○前時の学習を振り返る。 T前回の授業ではどんなことをしましたか？ Cごみを減らすために、学校でできることをグループで出し合い、自分が学校でできることを決めました。 ○本時のめあてを確認する。	□児童の気付きから本時のめあてへつなげるようにする。
	ごみを減らすために、家庭でできることを視点に沿って決めよう	
	T視点は何でしたか。 C①自分でできる、②すぐにできる、③続けられるです。 ○今日の学習の流れを確認する。	□話合いの視点を板書に位置付け、意識させる。 □児童が見通しをもって学習に取り組むために学習の流れを提示する。
展開	○自分の調べた取組を、グループで整理してまとめる。 Cお店にマイバックを持っていくことを考えました。 C他にマイバックを書いた人はいますか？ C私もマイバックを書いたから、重ねて貼ろう。 ○グループでそれぞれまとめたものを全体で発表する。 ○視点に沿って、自分でできることを決める。 Cグループ活動や全体交流を通して、たくさんの意見の中から家庭でできることを決めることができた。	□効率的な話合いができるようにするために、事前に取り組みについて自分の考えを付箋に書いておく。 □仲間分けをして見出しをつけさせる。 □誰がどこを発表するか決めておく。 □今まで調べてきたことを生かされているような意見が出てきた時は賞賛する。 ☆課題解決のために、目的意識をもってすすんで活動し、自分の生活に生かそうとしている。【主③】(ワークシート)
終末	○本時の学習を振り返る。 T今日の学習の振り返りをカードに書きましょう。 ○次時の活動を考える。 T次の時間はどんな活動をしていきたいですか？ C家庭でごみを減らす取組をしていく計画を立てたいです。 T次回は、家庭で取り組めるよう、計画を立てていきましょう。	□本時についての自分の思いや次時のめあてを書くよう助言する。 □学習の振り返りの視点を示す。